

# 飼育レポート

## report.1 カサンドラが献身的に子育て中

飼育展示担当 奥山 麻裕子

9月29日の早朝、カサンドラが4頭の仔を出産しました。カサンドラは2019年2月にも4頭の仔を出産しており、今回が2度目の出産になります。1度目の出産は、カサンドラが初めての出産で子育てが未経験だったことや、仔が未成熟の状態で生まれたこともあり、生まれて数日で衰弱死してしまいました。

今回は2度目の出産のため、カサンドラは出産直後から仔にしっかりと授乳を行っていました。しかし、翌日になると4頭の体の大きさに明らかな差があることに気がつきました。体が大きな個体は積極的に母親の乳首に吸い付いて母乳を飲んでいますが、小さな個体は母親から離れて産箱の隅でじっと動かずに過ごしている時間が多いうことが観察でわかりました。仔によって授乳量が全く違



●授乳の様子(10月9日)



●4頭が順調に成長中(12月18日)

うのか、体格差が日に日に大きくなり、小さい仔がいつ衰弱して力尽きてしまうのか、最初の頃は不安な毎日を過ごしましたが、カサンドラの休まずに行われる献身的な授乳により少しづつ体格差が縮まっていきました。

生後3か月を迎えた12月下旬には全頭が順調に成育し、一番小さかった仔も見違えるほどの大きさになりました。肉を食べ始めてから歯や噛む力も強くなり「バキバキ」と音を立てながら母のカサンドラと同じように肉と一緒に骨も噛み砕いて飲み込むようになりました。今後も、4頭が健康に独り立ちできる日まで、しっかりと飼育管理をしていきたいと思います。

## report.2 コツメカラウソ夫婦の子育て奮闘記

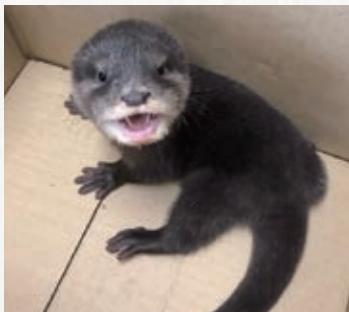
飼育展示担当 櫻庭 美千代

8月18日、メスのわらびとオスのキトラの間に待望の赤ちゃん1頭が無事に生まれました。親にとっても当園にとっても初の出産です。

人慣れしているように見えるカラウソですが、産後はかなり神経質になります。そのため、展示をしばらくお休みし、親が落ち着くまで屋内展示場の清掃も控え、1日1度の給餌作業も静かに素早く済ませました。授乳がうまくできているか、2頭でちゃんと世話をしているか心配な毎日でした。

生後数日、泣く仔を前に親2頭で慌てていると、キトラがまだ目も開いていない仔にアジを差し出してしまい「この先大丈夫かなあ?」と思いながら見ていましたが、日に日に2頭とも上手に世話をするようになりました。

生後1か月頃には仔の目も開き、少しづつ行動範囲が広がりました。10月に性別チェックをした結果、仔はオスとわかり、名前は秋田



●だまこ(10月9日)

の郷土料理のひとつ「だまこ鍋」から「だまこ」としました。しっかり者のわらびは、だまこが色々な物に興味を示すと「ダメダメ!」と制限します。予想通りの心配性です。

反対にドジなイメージのあるキトラは、だまこが扉を開けられずになると前肢で押し開けてサポートをしていました。彼は別人?別獣?のように変わりました。1月現在3頭はオス組(キトラ、だまこ)とメス組(わらび)と部屋を分けて暮らしています。これからも彼らは成長し、色々な姿を見せてくれると思います。ぜひ、会いに来てください。



●左からキトラ、だまこ、わらび(11月9日)